

EP8000 POWER7 710 (8231-E2B) / 720 (8202-E4B) / 740 (8205-E6B)

ファームウェア変更内容と来歴

	変更内容
AL730_159_159	<p>Impact: Availability / Security Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 投機的実行機能持つ CPU の脆弱性(CVE-2018-3639)をつく攻撃に対するセキュリティ対策を追加しました。 投機的実行機能やアウトオブオーダー実行機能を持つ CPU の脆弱性をつく攻撃に対するセキュリティ対策を追加しました。 VIOS 環境でファブリック障害がある Fibre チャンネルに接続されたディスクからブートした時に、適切なエラーログを出力せずにブートに失敗する不具合を修正しました。 停電などにより、AC 給電が断たれた後、AC 給電が回復してもサービスプロセッサがエラー(SRC 10000AC)を表示したまま、Power offの状態に復旧しない不具合を修正しました。手動での AC 給電オフ/オンにより回復可能です。” ”uncapped”に設定された LPAR の稼働中、プロセッサがプロセッサ・プールに移動したとき、システムがハングアップする不具合を修正しました。 ライブパーティションモビリティを設定している場合に、移行に失敗する不具合を修正しました。 装置起動時に、PCI アダプタが動作不可となる問題を修正しました。装置の再起動により回復可能です。 Active Memory Sharing(LPAR 間で使用するメモリを共有する機能) を設定した装置で、ダンプ採取に失敗する場合がある不具合を修正しました。 HWMC を接続しない構成で保守員によるハードウェアダンプの採取に失敗する不具合を修正しました。 HWMC からのパーティション操作中に、HWMC からサーバの状態管理が出来なくなる不具合を修正しました。この不具合は、サービスプロセッサに複数のエラーが採取されている時に発生しやすい傾向があります。 専用プロセッサ・パーティションに設定している場合、LPAR が間欠的に無応答になる不具合を対策しました。 HWMC とサービスプロセッサ間のネットワークに障害が発生した後、装置に 2 台目の HWMC を認識させることができない不具合を修正しました。AC 給電の OFF/ON により回復可能です。 サービスプロセッサで検出された一部のエラーログが、OS に報告されない不具合を修正しました。 HWMC でのパーティション削除操作に失敗する不具合を修正しました。不具合発生時には、エラーコード 4000E002 と メッセージ”...insufficient memory for PHYP”が表示されます。
AL730_146_035	<p>Impact: Availability / Security Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> Live Partition Mobility (LPM)が停止し、パーティションの移動により、移動先サーバの時刻が不正になる問題を修正しました。この問題は、移動先サーバのハイパーバイザの時刻が、移動元サーバの時刻より遅い場合に発生します。 I/O デバイスとの応答遅延やタイムアウトが起きる可能性がある問題を修正しました。 回復可能なエラーにもかかわらず、エラーコード B113E504 を表示してシステムが停止する問題を修正しました。 VIOS 2.2.2.0 以降のシステムへパーティションの移動を行っている間、移動されるパーティションがリポートする問題を修正しました。また、これより古い VIOS バージョンのシステムへ移動する場合、手動でパーティションのリポートをする必要があり、移動のリカバリも必要になる場合があります。 L2 キャッシュエラーが同一プロセッサで 2 回発生すると、2 回目のエラーを検知してシステムが停止する問題を修正しました。 Host Ethernet Adapter (HEA)のポートが、その物理ポートがダウンから回復したにもかかわらず、ダウン状態であると報告される問題を修正しました。 HWMC とサービスプロセッサ間の通信にかかわる、複数のセキュリティ脆弱性の問題を修正しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、IPL 中にコード C7004091 を表示してハイパーバイザがハングアップしたり、I/O ドロウの保守作業中にハングアップしたりする問題を修正しました。 VIO Server(VIOS)を使用しているシステムで、クライアント LPAR 間で物理的な I/O リソースを共有している場合、仮想制御ブロックのページ移行中に、メモリ再配置エラーにより、エラーコード B700F103 で

	<p>サーバが停止する可能性がある問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> メモリミラーリングを使用し、かつミラーリングの最適化ツールを使用している場合、logical memory block (LMB)の内容が再配置中に、メモリの回復不能なエラーが起きると、予測不能な動作をする可能性がある問題を修正しました。 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、I/O ドロウの電源ユニットの障害が、電源ユニットのマイクロセットや、電源ユニットの交換で回復したにもかかわらず、障害を報告し続ける問題を修正しました。 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、I/O ドロウの電源ユニットの交換中に、誤って Voltage Regulator Module (VRM)の障害を報告し、エラーコード 10001511 および 10001521 を記録する問題を修正しました。この問題が発生すると、I/O ドロウの電源ユニットが起動しなくなります。 LPM の操作を行っているシステムで、メモリークにより、run time abstraction service (RTAS)が、エラーコード 0c20 でパーティションランタイムの AIX のクラッシュを引き起こす問題を修正しました。 複数のブートパーティションを持つディスクデバイスがあるシステムで、System Management Services (SMS)で 1 つのブートパーティションしか表示しない問題を修正しました。 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、ドロウの電源電圧レベルの異常をエラー報告せず、電源の冗長性が失われたことを検知できない問題を修正しました。 拡張装置 (THE-C7001FC5802 I/O ドロウ) が接続されているシステムで、電源系統の異常によりドロウ内のリソースが使用できなくなる問題を修正しました。 AIX を使用しているシステムで、InfiniBand Host Channel Adapter (HCA)が障害、または機能低下している場合、AIX が強制終了する問題を修正しました。 休止していたパーティションの再開処理中に、状態を格納していたページングスペースとの接続が切れた場合、再開処理がハングアップする問題を修正しました。 ミラーリングしているメモリのデフラグメンテーション中に、アドレス不正によるエラーを検知し、システム停止する問題を修正しました。 LPM が行われているシステムで、移動先のシステムにパーティションが正常に移動したにもかかわらず、エラーコード 2005 でハングアップする問題を修正しました。 ブートできるデバイスが多数あるパーティションで、ブートが失敗し、エラーコード BA210000 が記録される問題を修正しました。
AL730_099_035	<p>Impact: Availability Severity: SPE</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> SRC B170E540 でシステムがクラッシュする問題を修正しました。 乏しい構成のパーティションを扱うライセンスのないコアを持つサーバをリブートした後で、コンフィグレーションのイニシャライズ操作が HWMC から行われたときに、アフィニティマネージャが動作するようにファームウェアを修正しました。 Dedicate 設定のプロセッサがあるパーティションを、Live Partition Mobility(LPM)を行った後にリブートすると、SRC BA33xxxx でハングする問題を修正しました。 RC B124E504 "Chnl init TO due to SN stuck in recovery"のログが採取された場合に、正しい field replaceable units (FRUs)が通知されるように変更しました。 システムファームウェアのインストール後、SRC B1818A10 が誤って記録される問題を修正しました。 仮想ファイバチャネルテープドライブからのブートが SRC B2008105 で失敗する問題を修正しました。 SRC BA180030 と BA180031 が "Predictive"でなく "Information"と記録されるよう修正しました。 OS が AIX のシステムで、Host Ethernet Adapter(HEA)上に大量の AIX が稼働している際に HEA のエラーが記録された後、SRC B7000103 でハイパーバイザがクラッシュする問題を修正しました。 パーティションのサスペンドに失敗する問題を修正しました。 回復不能なエラー SRC B7000103 (ErFlightRecorder) でスタックが失敗し、システムがクラッシュする問題を修正しました。 "RMGR_PERSISTENT_EVENT_TIMEOUT"の SRC B181E6F1 が誤って記録される問題を修正しました。 Advanced System Management Interface (ASMI) メニューによるシステムオペレーティングモード("M"または"N")の変更が、コントロールパネル(オペレータパネル)に反映されない問題を修正しました。 サービスプロセッサファームウェアでメモリークが起こる問題を修正しました。 複数のシステム IPL の間、SRC B155A491 が誤って採取される問題を修正しました。 システムのブート時に VRM に不具合が見つかった場合、VRM が取り付けられているメモリーカードの代わりに、不具合のある VRM 自体を示すようにファームウェアを改良しました。 SCR 11002691 のサービスアクションを改善しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> stride-N ストリームプリフェッチ命令、dcbt(TH=1011)または dcbtst(TH=1011)を活用したシステムで、パフォーマンス低下を引き起こす潜在的な要因を修正しました。 Hardware Management Console (HWMC)を使用するシステムで、Advanced System Management Interface (ASMI)のアクセスに Internet Explorer (IE)を使用した場合、ASMI でネットワーク関連のパラメータの変更後、IE が約 10 分間ハングする問題を修正しました。 アンカー(VPD)カードの交換後、アンカーカードの交換を要求する SRC A70047FF (infomational) が誤

	<p>って記録される問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5796I/O ドロワ (G30) が接続されたシステムで、システムハングする場合がある問題を修正しました。 HWMC で運用するシステムで、HWMC 上での "lsslot" コマンドが、vlan インタフェース上の送受信パケット数を誤って高い値を表示する問題を修正しました。 PCI ライザーが取り付けられている 8202-E4B および 8205-E6B で、複数ポートの通信アダプタが PCI ライザーに取り付けられていて、かつ HWMC で運用するシステムの場合、HWMC による通信アダプタのハードウェア構成確認が完了しない問題を修正しました。 リモートでリスタートできるパーティションを作成した後、そのパーティションのページングデバイスがオンラインであっても、ブートモードやキーロック設定ができない問題を修正しました。 検知できない N-mode の安全性の問題と、FC5802 I/O ドロワの電源サブシステムで報告されるエラーを修正しました。
AL730_078_035	<p>Impact: Availability Severity: HIPER</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ASMI の "システム・サービス・エイズ" 下の "Deconfiguration Records" メニューオプションで、メモリコントローラでの手動操作ができないようにファームウェア修正をしました。 回復可能な SRC B113E504 で、プロセッサコアの SRC 報告をしないように閾値の修正をしました。これにより不要な性能低下やプロセッサモジュールの不要な交換を防げます。 "power on" 時 SRC B7000602 が誤って記録される問題を修正しました。 I/O ドロワ (FC 5802) 搭載の AIX と VIO (Virtual Input/Output) が稼働するシステムで SRC B700F103 でシステムが正しく動作しない問題を修正しました。 AC 電源の抜き差し後、PCI スロット異常の LED が誤って点灯する問題を修正しました。 オペレーティングシステムまたはアプリケーションでエラーが発生したとき、機能プロセッサコアが SRC B7005442 を誤って記録する問題を修正しました。 システムが SRC B18187DA で正しく動作しない問題を修正しました。 SRC B2006009 でパーティションをアクティベートできなくなる問題を修正しました。 ハードウェア障害によりエラーを継続して記録しているとき、サービスプロセッサが停止し、SRC B18138B7 が誤って記録される問題を修正しました。 ASMI (Advanced System Management Interface) メニューで、言語選択に関係なく英語が表示される問題を修正しました。 ハイパーバイザのメモリアクセス時、パーティションのメモリ全てを訂正不能メモリーエラーとした問題についてファームウェアを修正しました。 システムブート時に記録される情報 "infomational" レベル SRC 10009002 の回数を減らすようにファームウェアを修正しました。 プラットフォームダンプが生成されるとき、同じエラーに2回障害通報が行われる問題を修正しました。 回復不可 "unrecoverable" レベルの SRC B181A809 が誤って記録される問題を修正しました。 回復不可 "unrecoverable" レベルの SRC B181A403 でシステムブートが停止する問題を修正しました。 サービスプロセッサのファイルシステムのスペースが満杯の時、プラットフォームのシステムダンプの削除ができない問題を修正しました。 MSD (main store dump) 後、パーティションがアクティベートできない問題を修正しました。 システムの電源 ON から1時間以内にアクティベーションすると、パーティションのアクティベートが失敗する問題を修正しました。この問題は、I/O スロットを数多く持った大規模なシステムで発生する可能性が高くなります。 電源を OFF/ON した後でリブートしたときに、システムが停止する問題を修正しました。 パーティションの RMA (reserved memory area) に影響する回復不可エラーが記録された後のパーティションリブートで、SRC B170E540 が発生してパーティションのリポートが失敗する問題を修正しました。 サービスプロセッサのリセット後、SRC B181156C、B181A40F が誤って記録される問題を修正しました。 パーティションメモリに訂正不能誤りが記録された後のパーティションのリポートが遅延する問題を修正しました。 SRC B181C3251 で重要度レベルを "predictive" から "informational" として記録するようにファームウェアを修正しました。 TPMD ("thermal/power management device" 温度/電源管理デバイス) が正常にリセットしたとき、SRC B1812A11 で "service action required" の代わりに、"informational" 情報として記録するようにファームウェアを修正しました。 誤って SRC B18186x1 を記録し、FSP (フレキシブルサービスプロセッサダンプ) を生成する問題を修正しました。 SRC B181E550 に対して、FRU (フィールド交換ユニット) の適用指示を修正しました。 サービスプロセッサまたはその電源を交換後に、システムパーティションの日付が 1969 年に戻る問題を修正しました。これは、サービスプロセッサの TOD クロックが正しくサービス実行中に設定されたかどうかに関係なく発生します。 SRC B700F103 でシステムが正しく動作しない問題を修正しました。

	<p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AIX または VIOS パーティションで、tprof(-a、-b、-B、-E オプション)コマンドまたは pmctl(-a、-E オプション)コマンドを使用した場合、パフォーマンスに影響を与える問題を修正しました。 ・ I/O ドロウ (FC5802) が入力電源異常 (SRC 10001512 or 10001522) から回復したことをオペレーティングシステムに通知できなかった問題を修正しました。 ・ Ax720 から Ax730 にアップグレードされるシステムで、ファームウェア・アップグレード中に、ログ B1818A0F が取られた場合、重要度を 'predictive' から 'informational' として扱うように、ファームウェアを修正しました。 ・ AMS (Active Memory Sharing) 稼働システムで、メモリ配置により性能を向上する改良をしました。 ・ ディスク・ヘッダが消去されなかったので、論理パーティションの AMS 実行が失敗し、中断する問題を修正しました。 ・ AMS (Active Memory Sharing) 、AMM (Active Memory Mirroring) 稼働システムで、メモリアロケーションを失敗する問題を修正しました。このことが、SRC A2009030 でパーティションのブートを失敗した原因です。 ・ deconfigured したプロセッサコアを持ち、DPS (Dynamic Power Save) モードで稼働中の AEM (Advanced Energy Manager) を用いたシステムで、プロセッサ電圧が誤ってセットされる問題を修正しました。これはシステムがより多くの電力を使う原因になりました。 ・ HWMC で管理され、類似グループを使ったシステムで、パーティションの一つが正しく置けない問題を修正しました。 ・ 3 つあるいは 4 つのプロセッサカードを持ち、さらに FCO (field core override) オプション (FC 2319) を使用している 8233-E8B 、8236-E8C モデルで、システムブート時、利用可能なプロセッサ数をいくつかのケースで誤って計算してしまう問題を修正しました。 ・ 2 つの仮想プロセッサで構成された、共用プロセッサパーティションで、1.0 の物理プロセッサ容量を超え、物理共用プロセッサに 1 つのプロセッサしか存在しないとき、ハングアップする問題を修正しました。 ・ 管理システムプロセッサが HWMC で間違っただけの表示をする問題を修正しました。この問題は、システムブート時にパーティションが定義されていないとき発生します。たとえば、MES アップグレード後に起こる可能性があります。 ・ VIOS 稼働中のシステムで、SRC B700F103 でシステムが正しく動作しない問題を修正しました。 ・ プロセッサとメモリの関連付けがないシステムで、システムパフォーマンスが低下する問題を修正しました。AMS (Advanced Memory Sharing) 稼働システムで、LPAR 作成中にシステムが正しく動作しない問題を修正しました。 ・ パワーセーブモードでのシステム待機で、システムリブートしたときに誤った SRC B150B943、B113C660、B113C661 が記録される問題を修正しました。 ・ AMS (Advanced Memory Sharing) 稼働システムで、AMS プールを使用した VIOS (virtual I/O server) パーティションがシャットダウンできない問題を修正しました。 ・ 専用メモリが割り当てられているパーティションシステムで、パーティションの再開操作で、HWMC の SRC HSC0A945 となり専用メモリ割り当て失敗となる問題を修正しました。 ・ shared processor partitions が稼働するシステムで、パーティションがハングアップする問題を修正しました。この問題は電源 OFF/ON まで回復しません。 ・ AEM (Advanced Energy Manager) 稼働中のシステムで、システムがセーフモードの場合、プロセッサの使用率の計算が正しくない問題を修正しました。 ・ FC 5740 (4-port GB Ethernet adapter) をインストールしたシステムで、SRC B7006970 が誤って 2 回記録され、ブート時のアダプタ構成認識を失敗する問題を修正しました。 ・ VIOS 稼働中のシステムで、VIOS コマンド "lsmmap -npiv -all" で間違っただけのロケーションコードが出力する問題を修正しました。 ・ 4096 以上の仮想スロットを持つパーティションの移動操作ができない問題を修正しました。 ・ AMS (Advanced Memory Sharing) 稼働システムで、AMS パーティションが移動するために必要な時間を短縮するようにファームウェアを改良しました。 ・ DB2 pureScale 稼働システムでの、RMDA (remote direct memory access) の断続的なエラー、そして pureScale サーバプロセスのコアダンプが取られる問題を修正しました。 ・ プロセッサとメモリの関連付けがないシステムで、ブート時間とシステムパフォーマンスを向上するように、ファームウェアを改良しました。 ・ 複数のハードウェアエラーが発生したとき、サービスプロセッサはリセット/リロードを起こし、システムがハングアップする問題を修正しました。 ・ 仮想スイッチ稼働システムで、特定の仮想スイッチへアクセスできるパーティションの数を制限するように、ファームウェアを修正しました。 ・ 8202-E4B 、8205-E6B システムで回復不可 "unrecoverable" レベルの SRC 11003116、B1754201 が誤って記録される問題を修正しました。 ・ 8231-E2B システムで、システムファンが数分間、通常より速く動作する問題を修正しました。
AL730_035_035	<p>Impact: New Severity: New</p> <p>新機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4GB 以上のシステムプラットフォームダンプをサポートしました。 ・ FC5887 SAS ディスクドロウをサポートしました。

	<ul style="list-style-type: none"> 750(POWER7)システム装置でプロセッサ デコンフィグレーションをサポートしました。 750(POWER7)システム装置 CPU 3.6GHz モデルをサポートしました。
AL720_101_066	<p>Impact: Availability Severity: HIPER</p> <p>本 FW バージョンは、710,720,740 専用です。750 に適用できません。</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> いくつかのサービスプロセッサファームウェア障害のエラーログエントリーで重要度が“predictive”のものを誤って“informational”としてしまう問題を修正しました。 SRC:B181951C を誤って 3 回ログ登録し、システム IPL の時間が 1 時間程増加する問題を修正しました。この問題はファームウェアレベル AL720_082、AL720_090、AM720_084、AM720_090、AH720_082 または AH720_090 がインストールされているシステムで発生する可能性が高くなります。 プロセッサ 0 が guard out されたとき、EnergyScale のファームウェアが誤って Safe モードになる問題を修正しました。 誤って SRC B1812A61 が記録される問題を修正しました。 システムダンプがサービスプロセッサから引き渡されない問題を修正しました。これが発生すると、追加のダンプを採取することができなくなります。 AIX エラーログに複数の DR_DMA_MIGRATE_FAIL がエントリされる問題を修正しました。 何度も SRC B7000803 を誤って登録する問題を修正しました。 DLPAR(dynamic LPAR)によるパーティション間のプロセッサリソースの移動ができなくなる問題を修正しました。 パーティションを boot できない問題を修正しました。 メモ리카ードからメモリ DIMM が見えなくなったときに、交換ユニット(FRU) が正しく指摘されない問題を修正しました。 VIOS パーティションが boot に失敗する問題を修正しました。 Hypervisor の誤動作によりパーティションの動作を阻害する問題を修正しました。(この問題は性能に影響を与えます。) パーティションの suspend 操作がハングアップする問題を修正しました。この問題が発生した場合、以降の全ての suspend 操作が同様にできなくなります。 P6 から P7 の LPM(Live Partition Mobility)が成功した後で、target partition がクラッシュする問題を修正しました。 <p>AIX エラーログエントリーには以下のログが含まれる可能性があります。</p> <pre>label: DSLPROC, resource: SYSVMM, description: "DATA STORAGE INTERRUPT, PROCESSOR"</pre> <p>また、他のパーティションに関係するクラッシュのログが記録される可能性もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> LPM(Live Partition Mobility)が成功した後で、AIX のエラーログが採取される場合がある問題を修正しました。 <p>AIX エラーログエントリーには以下のログが含まれる可能性があります。</p> <pre>label: RTAS_ERROR, resource: sysplanar0, description: "INTERNAL ERROR CODE"</pre> <p>また、他にもエラーログが登録される可能性があります。</p> <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 台の HMC が接続されているシステムにおいて、1 台の HMC が頻繁に incomplete 状態になる問題を修正しました。 ホストイーサネットアダプタ(HEA)機能を使用しているシステムにおいて、ロジカルポートの削除に失敗したことを HMC が誤って報告する問題を修正しました。 POWER6 から POWER7 にパーティションを移行するときに、AIX のライセンスが発行される問題を修正しました。 FC5802 I/O 拡張ドロウが接続されているシステムにおいて、I/O ドロウのリペアが行われたときに誤って SRC10003144 または 10003154 が記録される問題を修正しました。 HMC で管理されていないシステムにおいて、サービスプロセッサがリセットされ、その後 ASMI メニューの TTY(シリアルポート)バージョンを使用してシステムが Power ON されたときに、プログレスコード C1122000 を表示してサービスプロセッサがインターミットにハングする問題を修正しました。 HMC で管理されたシステムにおいて、システムをブートしたときに、エンクロージャインジケータが消灯したにもかかわらず、HMC のアテンションインジケータが点灯したままとなる問題を修正しました。 HMC で管理されたシステムにおいて、HMC のコンポーネントインターバルアクティビティレポートによって、uncapped CPU が常に 100%利用可能であるように示される問題を修正しました。 FC5685(PCIe 拡張ブリッジ)がインストールされた 8202-E4B と 8205-E6B のシステムにおいて、I/O スロットをコントロールする I/O ブリッジチップによってある種の回復可能なエラーが検知されたときに、拡張ブリッジに接続されたアダプタが誤って障害となる問題を修正しました。 FC5685(PCIe 拡張ブリッジ)がインストールされた 8202-E4B と 8205-E6B のシステムで、IBM i のパフォ

	<p>ーマンスモニタリングツールを使用しているシステムにおいて、P7IOC パフォーマンスカウンタデータの帯域が不正確になる問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> FC5685(PCIe 拡張ブリッジ)がインストールされた 8202-E4B と 8205-E6B のシステムで、インフォーマーショナルエラーが記録されたとき、拡張ブリッジに接続された I/O アダプタを誤ってフリーズ状態としてしまう問題を修正しました。 HMC で管理されておらず、サービスオーソリティパーティションが指定されたシステムにおいて、サービスプロセッサダンプまたはハイパーバイザダンプ(サービスプロセッサダンプ、システムダンプ、プラットフォームリソースダンプなど)がサービスパーティションに引き渡されない問題を修正しました。この問題は、ダンプが生成された時点で、複数の大きなエラーログまたはインフォーマーショナルログ(2KB 以上)がサービスプロセッサのキューに入っていた場合に発生します。 SMS メニューを使って NIM インストールが設定されているシステムにおいて、パケットサイズのオプションを 512 バイトと 1024 バイトに制限するよう変更しました。 FC5631(スプリット DASD イネーブルメントカード)が搭載されている 8202-E4B と 8205-E6B のシステムにおいて、そのカードのロケーションコードを誤る問題を修正しました。 8202-E4B と 8205-E6B システムにおいて、システムファンの最も遅い回転数を増加させるように改良しました。これは、誤って記録される SRC 10007620 の数を減少させます。 FC58027 I/O ドロウが接続されているシステムにおいて、ページマイグレーション中にパーティションのクラッシュを引き起こす問題を修正しました。
AL720_082_066	<p>Impact: Function Severity: HIPER</p> <p>本 FW バージョンは、710,720,740 専用です。750 に適用できません。</p> <p>新機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 710 に 4GB DIMM(FC4525)がサポートされました。 710,720,740 の ASMI に新しく "field core override" 機能がサポートされました。この機能で、サーバ上で稼動するプロセッサのコア数を増減できます。 <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ハイパーバイザが指示したサービスプロセッサの reset/reload が完了した後で、サービスプロセッサの reset/reload が繰り返し起こる問題を修正しました。この問題によってサービスプロセッサとハイパーバイザの間の通信が失われます。(SRC:B182951C が採取されます。) OS をブートできないディスクが SMS のブートメニューに表示される問題を修正しました。また、SMS ブートメニューでブート可能なハードディスクにインストールされた OS レベルも表示されない問題も修正しました。 I/O アダプタで回復可能な EEH(enhanced error handling)エラーが記録されたときに、DLPAR(dynamic LPAR)操作をしていないのに DLPAR エラーを示すログが記録されたり、回復不可能な SRC:BA180010 や BA250010 が誤って記録される問題を修正しました。 コントロールパネルを数週間使わずにいると、SRC:B1561111 のエラーが記録され、コントロールパネルが無効になる問題を修正しました。 ブート中 SRC:C700406E でシステムがハングする問題を修正しました。 ハードウェアマネージメントコンソールが incomplete 状態を示し、ハードウェアマネージメントコンソールにより管理されているパーティションが反応しなくなる問題を修正しました。 <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> バーチャル SCSI またはバーチャルファイバチャネルアダプタが DLPAR 操作によって加えられたとき、これらのアダプタから OS をブートできないように見える問題が修正されました。 ライブパーティションモビリティでパーティションの移動先が POWER6(520 または 550)の場合、システム ID が変わる問題を修正しました。この問題は、ソフトウェアライセンス上の問題を引き起こす可能性があります。 パーティションを POWER7 システムから POWER6 サーバへライブパーティションモビリティで移行するとき、誤って SRC:BA210000 または BA280000 が記録される問題を修正しました。 ライブパーティションモビリティでパーティションが、システムファームウェア Ax720 の POWER7 サーバからシステムファームウェア Ex340 以下の POWER6 サーバに移動するとハングアップする問題を修正しました。 HEA でブロードキャストやマルチキャストを使用して、ビデオストリーミングのような数百万ものパケットの送受信を行うシステムにおいて、パケットストーム軽減アルゴリズムを改良し、パケットストームを検出したときに単にパケットを廃棄するようにしました。 パーティションのリブート中に、SRC:B2001230 と word 3 = 000000BF が採取されリブートが失敗する問題を修正しました。この問題は、PCI.PCI-E.PCI-X スロットを構成に含むパーティションで起こる可能性があります。 本体に PCI-E アダプタが搭載され、I/O ドロウ(FC5802)も接続されているサーバにおいて、ページマイグレーション中に SRC:B700F103 が取られ、システムがクラッシュする問題を修正しました。
AL720_066_066	本 FW バージョンは、710,720,740 専用です。750 に適用できません。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 新規リリース |
|--|--|

株式会社 日立製作所 ITプラットフォーム事業本部 2020年3月

(c) Hitachi, Ltd. 2020, All rights reserved.